



平成 28 年特別展のご案内

「普通選挙をめざして一犬養毅・尾崎行雄」と題する平成 28 年の特別展について、各コーナーの概要を展示順に紹介します。

憲政史シアターでは、犬養・尾崎の 2 人を中心とした議会政治の歩みを 15 分程度で上映します。今回の特別展の時代背景や概要を映像にまとめたもので、展示資料への理解を深めることができます。

次にメインとなる文書展示「議会とともに一犬養毅・尾崎行雄」では、第 1 回衆議院議員総選挙から連続当選し、帝国議会とともに人生を歩んできた犬養・尾崎 2 人の動向を中心とした議会政治の歩みを、①「理想の政治を求めて」1890 年（明治 23）～1912 年（明治 45）、②「デモクラシーの行方」1912 年（大正元）～1932 年（昭和 7）、の 2 つのコーナーに分けて関係資料により紹介します。

また、パネル展示「群像一犬養・尾崎をめぐる人々」では、2 人に関連する人物を略歴や写真等で紹介します。

壁面展示は、「素顔の犬養毅・尾崎行雄」と題して、犬養・尾崎の遺墨や遺品等を展示し、彼らの素顔にせまります。

特設展示では、2 つのテーマを取り上げます。選挙の歴史を紐解きながらその

変遷を紹介する「選挙の歩み」コーナーと、犬養・尾崎が活躍した時代の諸相を絵双六を中心に関係資料により紹介する「絵双六一明治・大正の風景」コーナーです。

今回展示する資料は 180 点超となります。皆様のご来館を心よりお待ちしております。



第一回衆議院議員総選挙で使用された投票箱

1890 年（明治 23）実施の選挙は警察官らによる監視の下で投票

（憲政記念館所蔵）



絵画「普通演説」
（森谷重夫画）

東京・芝公園で普通選挙実現をうたえる尾崎行雄
（憲政記念館所蔵）

開催期間	11月9日(水)～12月2日(金) の24日間 ※11月9日(水)は13:00から 開催
開館時間	9:30～17:00 ※入館は16:30まで
備考	期間中無休 入館無料

常設展企画展示のご案内

<2 階展示室>

「明治国家建設の立役者」(平成 28 年 7 月 1 日(金)～平成 28 年 10 月 16 日(日)まで)

今年は薩長同盟が結ばれて 150 周年に当たります。薩長同盟から明治国家建設に尽力した西郷隆盛、木戸孝允、坂本龍馬などの人物を取り上げ、紹介しています。

東征軍旗(大久保家旧蔵)→

1868 年鳥羽伏見の戦いにおいて朝廷は親征の令を出し、有栖川宮熾仁親王を東征大総督に、西郷隆盛を東征大総督府下参謀に任命した。東征軍は東海道を進軍するが、一度も旧幕府軍と遭遇することなく、また江戸は無血開城になった。この軍旗は、大久保利通所蔵のものであった。



←坂本龍馬肖像 (公文菊僊画)
公文菊僊は高知県出身の日本画家。

<1 階玄関ロビー>

「憲政記念館所蔵フィルムで見る昭和 40 年代後半の国会の風景展」



当館に所蔵されている写真フィルムのうち、第 63 回国会(1970 年(昭和 45))から第 74 回国会(1974 年(昭和 49))の写真の一部をパネルにして展示しています。当時の佐藤榮作総理や田中角榮総理、三木武夫総理等の写真で昭和 40 年代後半の国会を振り返ります。



←佐藤榮作内閣総理大臣
昭和 47 年 3 月 1 日
衆議院予算委員会



田中角榮内閣総理大臣→
昭和 48 年 12 月 6 日
衆議院予算委員会

憲政の十傑 一高橋是清一



【国立国会図書館所蔵】

【略歴】

1854 年（安政元）幕府御用絵師川村庄右衛門の子として出生、仙台藩の高橋覚治是忠の養子となる。藩費留学生として渡米、苦学した。英語の

教師等を経て日本銀行に入る。日露戦争の際には外債募集を成功させ、その功績により貴族院議員、男爵となる。1911 年（明治 44）日本銀行総裁に就任。1921 年（大正 10）原敬首相暗殺の後、首相兼蔵相となり、立憲政友会総裁を継いだ。護憲運動が高まると爵位を捨て衆議院議員となり護憲三派内閣の農相に就任。その後、政友会総裁を田中義一に譲って政界から退くが、金融恐慌に対処するため乞われて田中内閣の蔵相となる。恐慌を鎮静させ引退するが世界恐慌により再度要請され犬養内閣の蔵相となる。1936 年（昭和 11）、二・二六事件で殺害された。

【憲政において果たした功績】

山本権兵衛内閣組閣に当たり松方正義の有力な推薦と山本の懇願により「財政金融の第一人者」として蔵相に就任以降、財政政策の決定に指導力を発揮、都合七度蔵相を務める。1927 年の金融恐慌ではモラトリアム（支払猶予令）を発して鎮静化、また 1929 年の世界恐慌では積極財政による景気刺激策を推進した。日本経済の復興に辣腕をふるった高橋は、「国家は頼るものではなく、自己と国家

とは一つのものである」と語っている。

【エピソード】

雪の二・二六事件

その前日の 2 月 25 日、高橋はいつもよりも早く、午後 3 時ごろ蔵相官邸を退出して、表町の私邸へ帰った。というのは、この日は娘のみよ子が里帰りで来ており、久しぶりで家内そろって食事でもしたいというのが家の者の希望であった。はじめ、高橋は、「そんな私事で早退けするのは……」とむずかしい顔をしていたが、秘書官の久保（文蔵）が「もうきょうはべつに重要な用事はありませんから」と追い立てるようにして私邸へ送ったのであった。

高橋はこのとき、大臣室を出て曲りくねった長い廊下を玄関まで歩きながら、久保を顧みて、「いつぞや賀屋（主計局長）の親戚の人から頼まれた書の文句がきまったよ、『梅花笑って二月の雪よりも白し』というのはどうかネ。」といつになく上機嫌で、この句を二度ばかり朗々と口ずさんだ。久保の耳には長くそのときの高橋の底力のある声がこびりついていたという。これが久保にたいする最後の言葉であった。（以上、今村武雄『高橋是清』より抜粋）

翌 26 日の午前 5 時過ぎ、二階の部屋に押し入った青年将校らに襲撃されその一生を終えた。人間味にあふれ家族も円満。その和やかさと対照的な最期は、あまりにも痛ましいものであった。

館内・庭園散歩

<櫻の井の移設>



江戸の名水「櫻の井」が国会前庭の北地区（北庭）内に平成 28 年 8 月に移設されました。「櫻の井」は、近江・彦根藩井伊家上屋敷の表門外西側にあったもので、加藤清正が掘ったと伝えられています。一度に 3 杯の水を汲むことができた（三連式釣瓶井戸）ことで、江戸城を訪れる行人に水を提供し重宝がられたそうです。昭和 30 年に東京都から旧跡に指定され、昭和 43 年に道路工事のため移設、そして今回の移設となりました。

<鳥の巣箱架け>

千代田区立麹町小学校・国立大学法人お茶の水女子大学附属小学校の生徒が、9 月中旬に、庭に設置されている複数の

巣箱を取り外し、中の巣材を調べます。

この巣箱は、平成 28 年 3 月 16 日に超党派の国会議員で組織する鳥類保護議員懇話会と両校の生徒が設置したものです。昭和 32 年 5 月 10 日（バードウィーク初日）に、日本鳥類保護連盟が国会前庭の樹木に巣箱を架設し、その後、上記の鳥類保護議員懇話会の要望で昭和 58 年、北庭に 25 個の手作りの巣箱を架設したのが始まりです。

鳥類保護連盟の岡安栄作室長によれば、巣箱の中は例年大量の枯草が入っているそうです。それによりスズメが巣箱を利用したことが分かったり、またビニール製のヒモや、ハヤブサ、フクロウなど都会では珍しい鳥の羽根が入っていることもあり、巣箱を通じて鳥や自然について学ぶことができるそうです。



< 編集後記 >

憲政記念館では、特別展開催に向けた準備が佳境に入中、憲政記念館の展示の成果を YouTube の衆議院事務局チャンネルにアップしました。本号で紹介しました「憲政記念館所蔵フィルムで見る昭和 40 年代後半の国会の風景展」をはじめ、計 4 本です。次の衆議院事務局チャンネルから、是非ともご覧ください。<https://www.youtube.com/channel/UCppg061zUuuEbmyJPGuc_BA>

<https://youtu.be/u6mgNND0R9A> 憲政記念館 書に映る総理の心 色紙展 第 46～84 代

https://youtu.be/nxnXyI0_BPc 憲政記念館 書に映る総理の心 色紙展 第 85～97 代

<https://youtu.be/dgzri0xs-2k> 憲政記念館 所蔵フィルムで見る国会の風景 昭和 40 年代前半

<https://youtu.be/CXZwpkY45HY> 憲政記念館 所蔵フィルムで見る国会の風景 昭和 40 年代後半

【発行人】 花島克臣

【印刷・発行】 衆議院事務局 憲政記念館

【編集責任者】 高橋和彦

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-1-1

TEL : 03-3581-1651 FAX : 03-3581-7962

本紙について、私的利用・引用等著作権法で認められた行為を除き、無断で改変・転載・複製を行うことはできません。引用される場合には出所を明示し、また、転載等を行う場合にはあらかじめ当館へご連絡ください。